

## V 日高振興局

### 1. 地元のお花を子どもたちへ・・・ 「花育」活動を実施

5月19日、日高地方農業士会（谷廣美会長）と日高地方花き連合会（佐藤公彦会長）共催による「花育」活動が実施された。

この活動は、管内の小学生と支援学校の児童を対象に、花に親しみ、花とふれあう機会を通して、豊かな心を育むとともに、当地方が全国有数の花の産地であることを知ってもらおうと行っているもので、今年で9回目となる。

花き連合会会員から無償提供されたスターチスや宿根カスミソウ、カーネーション等約7,000本の切り花を花束にして、両会員が管内の小学校33校（支援学校含む）の全クラスに日高地方の花を紹介したパンフレットとともに届けた。

また、33校のうち6校では、花束の贈呈式が行われ、両会役員が児童代表に直接花束を手渡し、花に関する豆知識の講話を行った。上南部小学校の贈呈式に出席した谷会長は「家でも花を飾ったり、花壇で育てたりして、元気で優しい人に育ててください」と呼びかけた。



贈呈式（上南部小学校）



贈呈式（和田小学校）

### 2. 日高川町新果樹研究会が現地研修会を実施

日高川町新果樹研究会（坂田猛会長）は5月17日、葉面散布等の資材を販売するロイヤルインダストリーズ株式会社の瀬片元治技術部長を講師に招き研修会を開催した。日高川町農村環境改善センターで行われた講演では、本年産カンキツ類の着花状況の紹介や着花に影響を及ぼした要因についての考察を基にこれから取り組む対策等について話された。その後、会員の園地を回り植栽している園地や品種に適した栽培法の指導を受けた。本年度内に3回程度継続して研修会を行う予定である。



講演の様子



現地研修